

地域活性化から キャリア開発塾



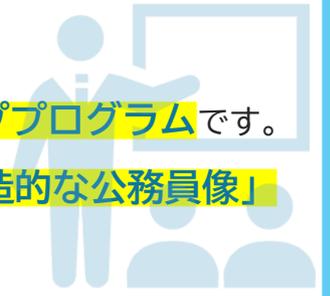
一般財団法人

地域活性化センター

Japan Center for Regional Development

キャリア開発塾とは

地方公共団体で働く**若手職員向け**の当センター**短期インターンシッププログラム**です。
センター職員が目指す、これからの時代に求められる**「自律的で価値創造的な公務員像」**を意識し、具体的な実践方法を学ぶ機会を提供します。



キャリア開発塾の学びのポイント

- ①最先端の働き方やオフィス改革を進める官公庁や民間企業の現地視察を通じて、**最新の公務・ビジネス環境や考え方を体験**
- ②講義や実践的なワークショップを通じて、地域や組織の創造性向上に役立つ手法を学び、**行政と民間団体の連携における行政の役割**を深く理解
- ③**実践者や多様な関係者との交流**を通じて、新しい視点を得られる場を提供



主任講師

箕浦 龍一 氏

- ・元総務省大臣官房サイバーセキュリティ情報化審議官
- ・一般社団法人官民共創未来コンソーシアム理事
- ・一般財団法人地域活性化センターシニアフェロー



主な講義及び視察実績

講義テーマ

変化する社会の読み解き方 共創空間と「問い」の感性 自治体・企業のマーケティング 飛び出す公務員実践事例	令和時代の公務員の働き方 DXとAIの可能性 コミュニケーション改革 キャリア開発塾OBによる実践事例紹介	官民共創の新潮流 人を動かすアイデアの創発 ウェルビーイング経営 ほか
---	--	--

視察・講義実績

<官公庁>

東京都庁 港区役所 渋谷区役所 大田区役所
長野県庁 千葉県流山市 三重県伊勢市

<企業・団体>

コクヨ株式会社 合同会社DMM.com 株式会社ポニーキャニオン
UNIVERSITY of CREATIVITY (株式会社博報堂) 株式会社イトーキ
SHIBUYA QWS (株式会社スクランブルスクエア) 株式会社ソーシャルエックス
東急エージェンシー株式会社 日本マイクロソフト株式会社
羽田イノベーションシティ 株式会社PHONE APPLI 楽天グループ株式会社 他



募集情報

参加費用 1名 35,000円
(別途旅費等自己負担)

募集人数 各回16名程度(年3回を予定)



キャリア開発塾紹介
申込ページ

プログラム例

キャリア開発塾では各回において**学びのテーマ**を設けており、
同じ年度でも**各回の内容が異なる**ことがあります

※掲載のプログラム例は令和6年度第1回(令和6年7月開催)の内容です



行	程	内	容
1日目	PM	開講式・主任講師による基調講義 グループワーク(参加者の目線合わせ) 地域活性化センター執務室見学	
2日目	AM	民間企業視察(ITOKI TOKYO XORK)	
	PM	民間企業視察(株式会社PHONE APPLI) 主任講師講義	
3日目	AM	民間企業視察(株式会社ソーシャルエックス)	
	PM	民間企業視察(SHIBUYA QWS)	
4日目	AM	講義・ワーク(横浜市行動デザインチームYBiT)	
	PM	講義・ワーク(UNIVERSITY of CREATIVITY)	
5日目	AM	キャリア開発塾OBによる実践事例紹介・意見交換会(新潟県妙高市・長野県佐久穂町)	
	PM	受講感想発表 主任講師講評・閉講式	



民間企業視察(ITOKI)



民間企業視察(ソーシャルエックス)



UoCでのワーク



閉講式

受講者の声

プログラムの感想

- **新たな気付きや刺激**をもらい、とても充実していました。
- 想像以上に楽しかったです。**普段見られないオフィスや働き方**を知り、他市町村の方と関わった事が嬉しかったです。新しいことを始めた方々の話から勇気をもらいました。
- 現状から**一步踏み出す勇氣**をいただけた研修でした。
- 非常に密度の濃い内容、**今までの概念を覆す機会の連続**で、終始、刺激に満ち溢れた研修でした。
- 急速に変化する時代に公務員も今まで通りの働き方ではダメという漠然とした思いは持っていましたが、講師や参加者の姿勢を見て、**自分も行動していきたい**と思えました。

こんな人にオススメ

- 人脈を広げたい、今の仕事に**新しい風を吹き込みたい**人
- 官民共創や職場横断、地域イベントを担う人
- 少しでも**働き方や環境に問題意識**を抱いている人
- 今の組織での**現状維持がいいと思いついでいる**人
- 熱い気持ちを持っているけれど、それを**どのように実現させて**いけば良いかわからないという人

(事後アンケートより)



派遣元の声

受講後の変化

- 帰庁後すぐに**自主報告会**を行い、**学びを共有**していた。
- **主体的・前向きに業務に取り組もうとする**マインドが養われた様子がうかがえる。
- 先進企業の職場環境整備の取組に大いに刺激されていた。
- これまでと同じではなく、**時代に沿った変化の必要性を意識し**ながら業務に取り組む姿勢が見られる。

(事後アンケートより)

お問い合わせ先

一般財団法人地域活性化センター
企画・人材育成グループ
アクティブラーニング室
E-mail : active@jcrd.jp
TEL : 03-5202-6133

